



我が県土  
支え育む  
希望郷

美しい

# 県土づくり NEWS

2022年

2月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第 211 号  
令和 4 年 2 月 28 日発行  
編集 県土整備企画室



復興支援10年  
ありがとう

## 目次

- 2 一般国道 281 号下川井工区が開通しました！
- 4 「いいね！アワード 2021」の取組について  
～県土整備部の3つの取組が表彰されました！～
- 6 除雪オペレーター育成に向けた合同除雪訓練を実施！
- 8 【水門・陸閘自動閉鎖システム】  
津波注意報・警報発表時 (R4. 1. 16) の稼働状況について
- 10 「遠隔臨場活用事例」を紹介します！
- 12 『東日本大震災における復興記録展』を開催しています！

## 一般国道 281 号下川井工区が開通しました！

～県北地域の東日本大震災津波関連の道路が全て開通～

岩手県が「復興支援道路」として整備を進めてきた一般国道 281 号下川井工区が令和 4 年 2 月 5 日（土）13 時に開通しました。

今回の開通により、県北地域の東日本大震災津波関連の道路事業が全て開通となりました。



【復興支援道路】

一般国道281号下川井工区が開通しました！

県北広域振興局土木部

令和4年2月5日、岩手県が平成28年度から久慈市山形町川井地内で整備を進めてきた一般国道281号下川井工区(延長1,160m)が開通しました。

開通に先立ち、当初は、久慈市山村文化交流センター「おらほーる」で開通式典を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模や参加人数を見直し、屋外での現地セレモニーのみ行いました。

現地セレモニーでは、遠藤 久慈市長、中平 県議会議員、岩城 県議会議員をはじめ、関係官公庁や行政区長、地権者の皆さんに御出席いただき、高橋 県北広域振興局長の挨拶の後、テープカット・くす玉開披、通り初め(パレード)を行い、開通を祝いました。



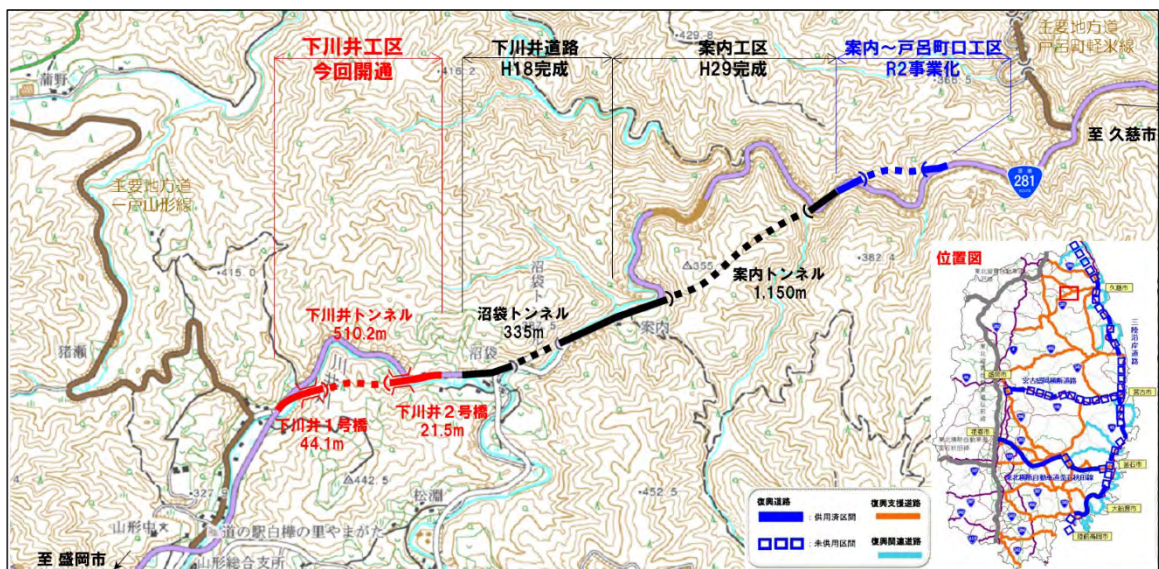
高橋 県北広域振興局長挨拶



通り初め(パレード)

事業概要

一般国道281号は、県北地域の沿岸部と内陸部を結ぶ幹線道路であり、地域間交流を支え、物流や観光などの産業振興にも大きく寄与するとともに、災害時の緊急輸送道路としての機能を有するなど重要な役割を担っています。



一般国道281号 久慈市山形町川井～戸呂町間の整備状況

整備概要

事業延長：1,160m  
 計画幅員：一般部・橋梁部 6.0 (12.0) m、トンネル部 6.0 (10.0) m 片側歩道 2.5m  
 総事業費：約 38 億円  
 主要構造物：下川井トンネル 510.2m、下川井1号橋 44.1m、下川井2号橋 21.5m

下川井工区の現道は、幅員が狭く、急カーブや落石危険箇所などもあり、交通のあい路区間となっていました。今回の開通により、前後の整備済み区間と一体となって、安全で円滑な通行が確保され、緊急輸送道路としての信頼性を高めるとともに、幹線道路としての機能向上が図られるものです。

今回の開通により、県北地域における東日本大震災津波関連の道路事業は全て開通となりましたが、一般国道 281 号では、令和2年度にトンネル計画を含む案内～戸呂町口工区を事業化したところであり、引き続き切れ目のない整備に取り組んでいきます。

下川井2号橋の橋名板お披露目式

今回開通区間にある下川井2号橋（橋長 21.5m）の橋名板は、道路への親しみや道路構造物への愛着を持っていただきたい願いも込め、久慈市立山形小学校の6年生 11 名に揮毫していただきました。

橋梁が完成する令和3年8月に開催を予定していた橋名板のお披露目式は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期していましたが、12月23日に開催することができました。

当日は、高橋 県北広域振興局長から6年生に感謝状を贈呈し、施工したオリエンタル白石株式会社からは橋名板のレプリカとなる文鎮をプレゼントし、全校児童で完成を喜びました。



揮毫いただいた橋名板



全校児童と一緒に記念写真

# 「いいね！アワード2021」の取組について

～県土整備部の3つの取組が表彰されました！～

県土整備企画室

## 1 「いいね！アワード」とは？

### ■概要

日々の業務における工夫や業務改善の取組事例・アイデアを全庁で共有し、浸透・発展を図ることを目的として実施されています。

### ■対象

「いいね！アワード」の取組の種類や対象は、以下のとおりです。

- グランプリ
  - 準グランプリ
  - 第3位
- } : 応募のあった取組から選定。

★部門賞「職員憲章」：岩手県職員憲章の5つの信条に対応する取組。

★部門賞「働き方改革」：働き方改革に資する取組。

★部門賞「パートナーシップ」：多様な主体との連携や支援、庁内他部門との連携や支援の取組。

☆特別賞「エヴァンジェリスト」：これまでの受賞事例等を自職場に取り入れ発展させるなどし、業務改善を図っている取組。

## 2 「いいね！アワード2021」の状況

今年度の「いいね！アワード2021」では、県全体で85件の応募があり、県土整備部関係では以下の3つの取組がそれぞれ受賞しました！

グ ラ ン プ リ：通行止情報のTwitter発信！

部 門 賞（職 員 憲 章）：【現物確認を簡単便利に楽々と】備品管理台帳の見える化

部門賞(パートナーシップ)：中学生に興味を持ってもらいながら楽しく建設業を学んでもらうための取組(体験学習会)について

3 それぞれの取組の紹介と表彰式の様子

■通行止情報の Twitter 発信！

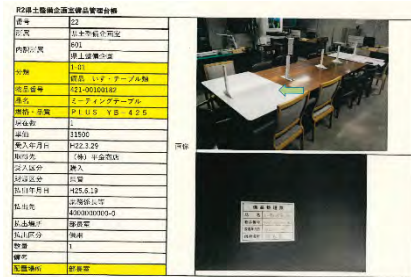


【ポイント】

- ・危険な場所に近づく前に道路利用者にお知らせ
- ・HP 公表からタイムロスなく情報を提供
- ・出先事務所に新たな作業負担は無し



■備品管理台帳の見える化



【ポイント】

- ・新任者でも備品管理一覧表と現物の確認が簡単にできるよう、備品管理台帳（全備品の写真付台帳及び配置図）を作成

■中学生に興味を持ってもらいながら 楽しく建設業を学んでもらう体験学習会



盛岡広域振興局土木部では、進路選択の段階にある中学生を対象とし、将来建設業に就職していただくことを目指し、平成30年度から体験学習会を実施しています。

【工夫したポイント】

- ・中学校ごとの生徒数及び時間や内容の要望に合わせた体験内容としました。
  - ・生徒に興味を持ってもらう体験とするため、普段目にすることができない大きい建設機械やICT 技術によるドローンなどのハイテク機械を積極的に取り入れました。
- ☆着実に管内建設企業への就職が進んでいます。



【お問い合わせ】

岩手県県土整備部企画室

電話：019-629-5850 FAX：019-629-9130 E-mail：AG0001@pref.iwate.jp



## 【除雪訓練 in 道の駅錦秋湖】

### 除雪オペレーター育成に向けた合同除雪訓練を実施！

県南広域振興局土木部北上土木センター

県では、今年度から持続可能な除雪体制の確保を図るための若手除雪オペレーターの育成に向け、冬期通行止め区間等を活用した除雪訓練の場を提供するなど、新たな取組を進めています。

岩手県建設業協会北上支部ではこれに呼応し、以下のとおり支部の除雪企業合同での除雪訓練を実施しました。

- 1 日 時： 令和4年1月27日(木) 13:30 ~ 15:00
- 2 場 所： 道の駅「錦秋湖」駐車場
- 3 主 催： 一般社団法人岩手県建設業協会北上支部
- 4 参加企業： 北上支部管内の除雪企業
- 5 訓練目的： 若手除雪オペレーターを育成するため、除雪訓練を実施するもの
- 6 訓練内容： 除雪ドーザ、グレーダ、ロータリに若手オペレーターと熟練オペレーターと一緒に搭乗し、熟練が除雪作業を実施し、その後、若手が実施。  
【若手3名(19~21歳 男女)、熟練3名(20代~70代 男女)】  
その後、希望者に除雪車搭乗体験も実施。

訓練に使用した除雪車。左からドーザ、ロータリ、グレーダ



除雪業者ほか、北上土木直営オペレーター、北上市、報道陣等見学者含め約50名参加



【除雪訓練状況】ドーザにて除雪



【除雪訓練状況】ロータリにて除雪



【除雪訓練状況】グレーダにて除雪



【除雪車搭乗体験】グレーダの運転席



テレビ、新聞取材を受ける訓練生



# 【水門・陸閘自動閉鎖システム】

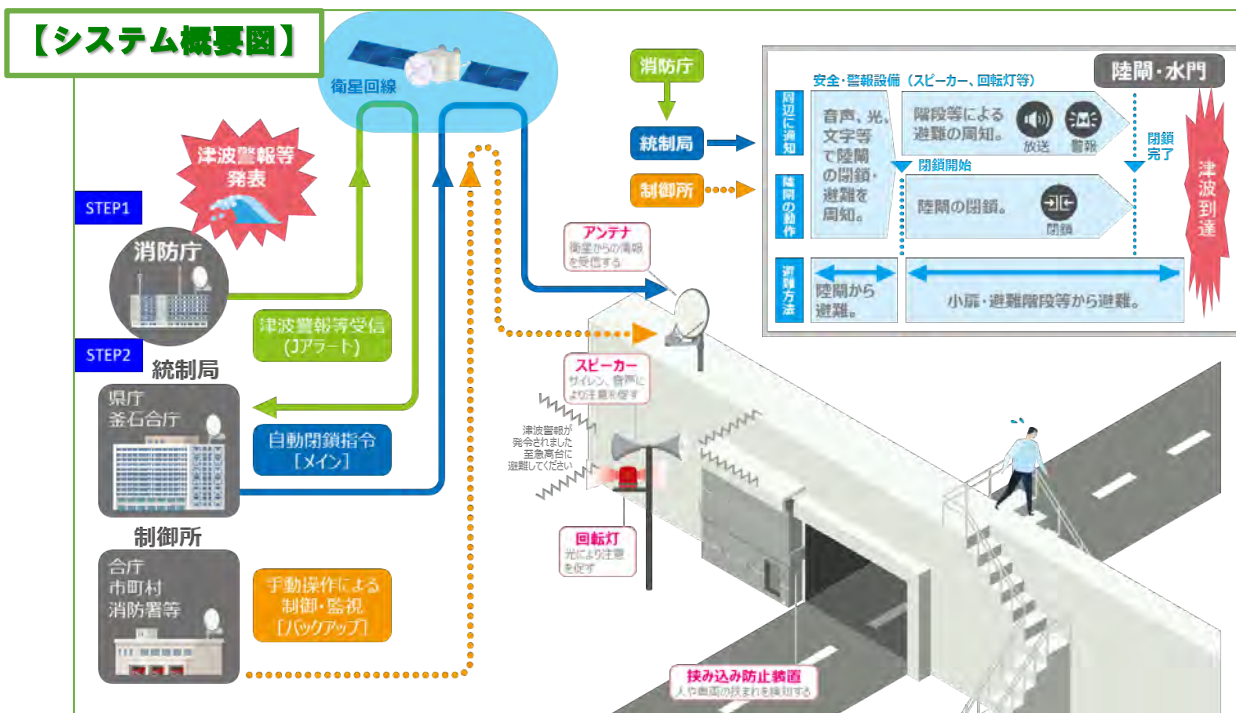
## 津波注意報・警報発表時(R4.1.16)の稼働状況について

河川課

岩手県では、東日本大震災津波の甚大な被害を教訓に、安全かつ迅速に沿岸地区の水門・陸閘を閉鎖することにより、津波からの被害を最小限に抑えるため、水門・陸閘自動閉鎖システムの整備を進めています。

トンガ諸島付近の海底火山噴火の影響により、令和4年1月16日に津波注意報・警報が発表された際には、運用開始後初めて自動閉鎖システムが稼働し、運用中の全165施設が閉鎖しました。

今回の経験を踏まえ、今後は改善点等を整理した上で、関係者間で情報を共有し、今後の対応に活かしていくこととしています。



### 1. 水門・陸閘自動閉鎖状況

運用中箇所：165箇所（県土整備部 98箇所）

- ① 注意報時閉鎖対象箇所  
161箇所（県土整備部 97箇所）  
→ 全箇所閉鎖確認
- ② 警報時閉鎖対象箇所  
165箇所（県土整備部 98箇所）  
→ 全箇所閉鎖確認

- ※1 県土整備部以外は農林水産部及び市町村所管分
- ※2 注意報時と警報時の閉鎖対象箇所数が異なるのは、警報時のみ閉鎖する水門・陸閘があることによる。

表 津波警報に伴う水門・陸閘の自動閉鎖状況

管理者	県				市町村	
	県土整備部		農林水産部		水門	陸閘
種別	水門	陸閘	水門	陸閘	水門	陸閘
基数	34	64	3	32	4	28
小計	98		35		32	
県小計	133				-	
県・市町村合計	165					



写真1 鶺住居川水門（閉鎖時）



## 2. 開閉等に係る時間について

### (1) 自動閉鎖の指令発信

統制局においてJアラート(全国瞬時警報システム)からの津波注意報・警報を受信し、各地の水門・陸閘施設へ自動閉鎖指令を発信します。

[注意報時の指令発信] 令和4年1月16日(日) 0時15分

[警報時の指令発信] 令和4年1月16日(日) 2時54分

### (2) 閉鎖開始時間

各施設において自動閉鎖指令を受信後、それぞれ定められている待機時間経過後に閉鎖を開始します。

閉鎖開始までの待機時間については、各施設における避難に要する時間や利用状況を踏まえ、地元と調整の上、決定しています。

[最短] 令和4年1月16日(日) 0時15分(小本川水門、田老2号陸閘など)

[最長] 令和4年1月16日(日) 0時25分(普代右岸・左岸陸閘など)

### (3) 閉鎖完了時間

各施設の閉鎖状況については、統制局や制御所のシステム上にて施設の開閉状況を確認したほか、一部地域(釜石地区)では監視カメラにより開閉状況を確認しました(釜石地区以外の監視カメラは現在工事中で未運用)。

[最短] 令和4年1月16日(日) 0時16分(浦浜水門、合足農地水門)

[最長] 令和4年1月16日(日) 0時35分(普代右岸陸閘)

※ 津波警報発表時を含めると3時2分閉鎖完了

### (4) 開放完了時間

注意報解除後、各施設において安全確認を行った上で、開放作業を実施しました。

[最短] 令和4年1月16日(日) 14時6分(鍬ヶ崎2号陸閘)

※ グリバルト1,2号陸閘(釜石市管理)については、注意報へ切替後に開放(11:37)

[最長] 令和4年1月16日(日) 17時00分(鶴住居川水門)



写真2 小白浜2号陸閘 (開放中)



写真3 下荒川農地水門 (開放後)



写真4 第1統制局(システム)写真

## 3. 今回確認された課題と今後の対応について

今回の対応を受けて、沿岸各公所・関係機関等へ課題や改善点について聞き取りを行った結果、「水門・陸閘開放時の人員体制の確保」や「施設閉鎖・開放時における施設管理者と道路管理者との情報共有」など課題や改善点が挙げられたところです。

今後は改善点等を整理した上で、今後の対応に活かしていくこととしています。

# IT 機器で建設現場でもリモートワーク！ 「遠隔臨場活用事例」を紹介します！

沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター

岩手県県土整備部では、工事受注者における「発注者臨場確認に伴う待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督職員）における「移動時間削減による効率的な時間の活用」等を目的として「建設現場の遠隔臨場」を試行しています。

今回はその中から、宮古土木センター管内の二級河川関口川筋関口川水門土木工事及び二級河川織笠川筋織笠川水門土木工事（工事受注者：西松建設株式会社）における活用事例を紹介します。



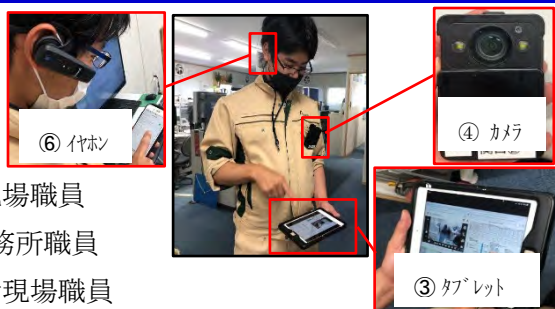
## 遠隔臨場イメージ



機器構成(例) 出典:建設現場の遠隔臨場に関する試行要領(案)(国土交通省 R3.3)

## 使用機器（今回事例）

- ① パソコン：発注者及び受注者事務所職員
- ② スマートフォン：受注者現場職員
- ③ タブレット：受注者現場職員
- ④ クラウド録画型ウェアラブルカメラ：受注者現場職員
- ⑤ モバイルWiFi ルーター：発注者及び受注者事務所職員
- ⑥ マイク付き無線ハンズフリーイヤホン：受注者現場職員
- ⑦ コラボレーションツール(テレビ会議用ツール・アプリ等)：発注者及び受注者事務所職員



立会状況



工事現場写真1

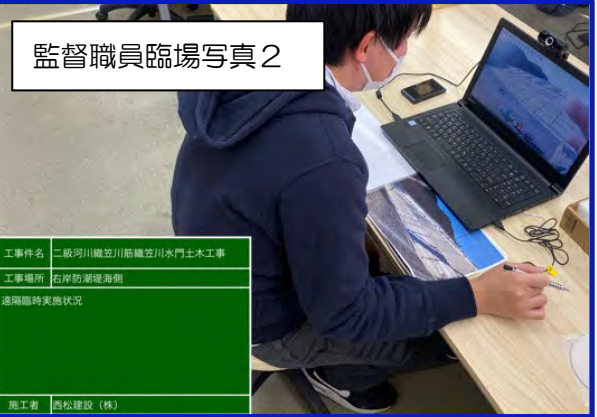


工事現場写真2

工事名 二級河川開口川扇開口川水門土木工事  
 工種 水門防浪堤岸工事 測点 A-26  
**0セット確認**  
 立会人 下屋敷氏

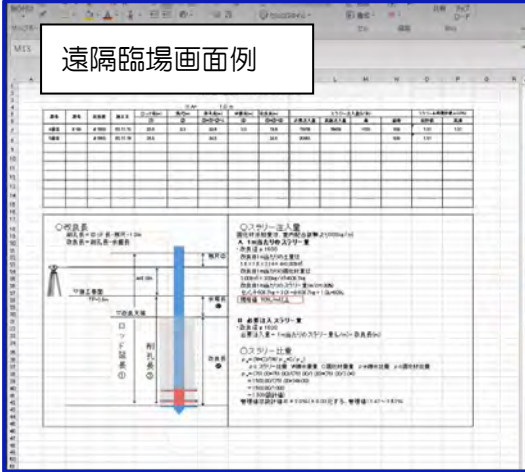


監督職員臨場写真1

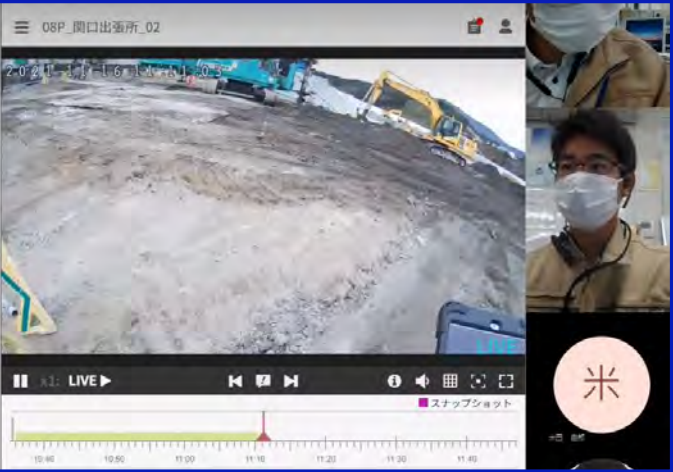


監督職員臨場写真2

工事件名 二級河川扇川筋扇川水門土木工事  
 工事場所 右岸防浪堤岸側  
 遠隔臨場実施状況  
 施工者 西松建設(株)



遠隔臨場画面例



活用した発注者と受注者からは以下の喜びの声があがっています。

- 【発注者】**
- ・現場への移動時間が減り、業務が効率化した。
  - ・画面に立会資料や工事図面を同時に表示できるので、確認事項が一目でわかる。
- 【受注者】**
- ・立会時に現場に持ち込む図面や帳票の印刷物が削減でき、立会中に測定結果を入力できるので、書類作成業務が効率化し、発注者受注者ともwin-winの関係が築けた。

今後も遠隔臨場を積極的に推進し、わかりやすく効率的な業務進捗を目指します！

## 『東日本大震災における復興記録展』 を開催しています！

県南広域振興局 土木部北上土木センター、農政部北上農村整備センター  
東日本大震災津波から11年となり、災害の記憶や経験を後世に伝承するため、発災からこれまで沿岸に勤務し、初期の災害対応や復旧復興事業を経験した職員の記憶や復興のあゆみを紹介するパネル展を開催しています。

**日時** 令和4年2月18日(金)  
～3月18日(金)  
9時～16時  
※土日祝祭日も開催

**場所** 北上地区合同庁舎1階  
県民ホール

**主な展示内容**

- 北上土木センター及び北上農村整備センター職員の証言  
～発災当時からこれまでの記憶(記録)～
- 「県土づくりNEWS」(県土整備部毎月発行)からみる復興の  
あゆみ(11年間の記録)
- 復興事業の紹介(沿岸の土木部、農林水産部等から提供)
- DVDによる動画上映(復興道路の紹介、津波防災講座、水門陸  
開自動閉鎖システムの紹介など)



### ○ 来場される皆様へ

- ・展示内容を詳しく知りたい場合は、職員が説明しますので、会場に掲示された連絡先にお問合せください。※ただし土日祝日を除く。
- ・会場には、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として消毒液等を設置しています。
- ・土日祝日は、会場以外の部屋には立ち入ることができませんのでご容赦願います。

～お問い合わせ～

北上土木センター ☎0197-65-2738、北上農村整備センター ☎0197-65-5650